

第九十八卷 第十二号 目次

岩谷十郎教授退職記念号

序

現代中国における地方統治体制

——大区制度を通じた統治の展開——

日本法理研究会への道

——思想犯保護と「法道」如——

「あるべきもの ce qui doit être」の学から

「有用性 utilité」の学へ：フランス中間

法時代のサヴォワにおける法教育の実相

——アンテルム・マランの講義筆記をめぐって——

戦時下における丸山義二の農民文学に

見える法律問題

「No Lombroso 委員会」について

新律綱領における八虐六議と

賊盗律謀反大逆条の削除について

夫婦創姓制度という選択扱

内密出産と「出自を知る権利」を

めぐる現状と課題

——韓国「危機的妊娠保護出産法」を手がかりに——

日本統治下の台湾における法文上から  
見たる妾の法的位置づけ

刑事附帯民事から見る律の民刑

慶應義塾の法律相談所

——戦前期法律鑑定部の創設と展開——

近代中国における「統治権」概念と天命倫理

昭和戦前期農業政策としての世襲財産法

オイゲン・フーバー書簡からみた  
民法典編纂後のドイツ法学界

——日独瑞比較法学史を指して——

福沢諭吉の文明観と人間観

——進化心理学からのもう一考——

ラブレリーの泉とサンティ殿についてのエッセー

GPS電子監視によるストーカー  
と犯罪被害者の安全確保

西田真之

高田久実

加藤学陽

呉迪

白石大輝

小沢奈々

坪川達也

岩下綾

太田達也

岩谷十郎教授略歴・主要業績

亀井源太郎

磯部靖

出口雄一

藪本将典

頼松瑞生

清水裕樹

兒玉圭司

吉田成利

田中佑季